

G SSH普及事業

1 課題研究教員研修会

(1) 研究開発の課題（研究概要）

課題研究の指導法を公開することで、課題研究を地域に普及させる。また、教員間で課題研究の効果的な指導法について考え議論することで、指導の改善を目指す。

(2) 研究開発の経緯

平成25年度に重点枠事業「理科課題研究を推進する教育ネットワークの構築」が採択されてから、毎年教員研修会を行ったきた。県内で課題研究を実施している学校は十分に多くはない。本年度も課題研究の普及と本校の課題研究の深まりを期待して実施した。

(3) 研究開発の内容

ア 研究の内容・方法

本校の課題研究の指導方法を公開し、実践の様子を見学する。さらに、課題研究の事前指導に有効な教材「紙コップの不思議」を体験する。また、理科の初任教員が参加しやすいように、初任者に授業が入らない火曜日に実施した。

イ 連携先 京都教育大学教育学部 教授 村上 忠幸 先生

岐阜大学 准教授 中村 琢 先生

ウ 参加者 教員45名（愛知県総合教育センター1、足助1名、安城南1名、一宮南2名、

○ 当日のプログラム

10:00～ 開会挨拶、一宮高校の科学的探究活動紹介

10:20～ 課題研究におけるMIの活用と効果

11:10～ 課題研究の授業（研究の様子）参観、昼食

13:00～ 科学的探究活動の体験（教員の実習）

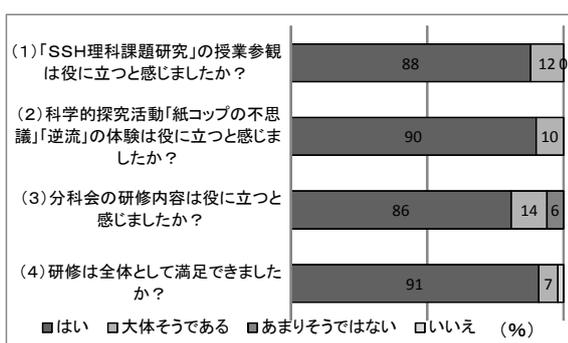
「紙コップの不思議」「逆流」

14:50～ 課題研究に関わる班別討議、質疑等

15:20～ 全体会閉会式、アンケート記入

犬山1名、犬山南2名、大府東2名、岡崎1名、岡崎北1名、春日井西1名、木曾川1名、刈谷2名、刈谷東1名、小牧南1名、千種1名、津島1名、豊田北1名、豊田西2名、豊橋東1名、常滑1名、中村1名、鳴海1名、西尾東1名、西春1名、日進西1名、半田東1名、尾西1名、尾北1名、一宮12名)

エ 日時場所 平成28年6月21日（火）10:00～15:30 本校



オ 実施内容 「SSH理科課題研究」の授業参観、活発な探究班を作るための方法MI（マルチプルインテリジェンス）の実習、探究プロセス「紙コップの不思議」の体験

カ 検証（成果と反省）

多くの先生方に科学的探究活動の意義を理解して頂くことができた。研修の満足度も高く、各校での実践報告も多数うけた。

参加教員のアンケートから

- ・生徒が楽しそうにやっているのが何より驚きだった。普段の授業に取り入れていきたいと思えます。
- ・課題研究で身につける力は受験を初めとして、様々な場面で役立つものだと実感した。
- ・実際にMIで班分けをし探究活動に取り組んでみて、仮説を立てて検証をしていく過程の難しさや楽しさを感じた。また、指導の際に答えを言わず、興味を引き出しながら考えさせることの大切さを感じた。
- ・生徒の知的好奇心を揺さぶることが最も大切だと感じた。それができれば、生徒一人一人がここまで出来るのかと感心した。



「紙コップの不思議」体験の様子